

【別紙様式】

平成28年度 津山市立（ 広戸 ）小学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・国語Aについては、ローマ字や文法に課題が残る。 ・算数Aについては、4・5年生での課題が大きい単元での正答率が低い。 ・国語B算数Bについては、無回答の児童は少なく記述はできているが、正答できていない。 	
	学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）	進捗状況	来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全 体の 取組	○家庭学習や長期休業中を利用して、課題のある問題について「問題データベース」を活用し、定着を図る。	A	○「問題データベース」を中心に課題に応じた問題に取り組む。 ○家庭学習や授業での振り返りなどで活用できているので、引き続き活用していく。
①	○「めあて」「自分で考える時間」「伝え合い」「まとめ」「ふりかえり」、「リズムとテンポ」を意識した授業展開を考える。	B	○その時間に身につけさせたい力を明確に持った「めあて」を設定し、「考える時間」「まとめ」「ふりかえり」を意識した授業展開を考える。 ○単元ごとに身につける力が十分ついていないので、経年課題となっていることを取り入れた授業作りをする。 ○その単元で身に付けるべき力をはっきりさせ、系統を見通して積み上げを意識した授業を行う。
②	○問題データベースを活用し、朝学習で基礎、放課後学習で活用問題に取り組みせ、基礎基本と活用力を身につけさせる。	A	○基礎の力はついてきつつあるが、年度初めから問題データベース等を活用し、引き続き課題の多い問題に取り組ませる。 ○朝学習や放課後学習の問題の解かせ方の交流や、学力テストや確かめテストの結果の検証を通して、本校児童の課題を共通理解する。
③	○授業と家庭学習をリンクさせる。	B	○授業で確実に理解させ、家庭学習で定着を図る。 ○家庭との連携を密にするとともに、予習復習を意識した家庭学習に取り組ませる。 ○自主学習を含めた家庭学習の様子を交流しながら、さらに予習復習を意識できるようにする。 ○各学年の家庭学習を掲示することにより、児童への意欲付けを行う。

※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」
 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」